

田中邦和

tenor sax , flute

中村卓也

piano

※通常の半分以下、12名限定にて入場制限を行っています。
※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2020 **09月17日(木)**

開場 19:30

開演 20:00

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC=3200円 +2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



田中邦和

ジャズからロック、インプロビゼーションまで常にトップシーンで活躍。レジェンドから若手まで、内外の一流アーティストとの共演、フェスティバルへの出演 (モンタレー、NY、TokyoJazz、Fuji Rocketc)、録音、音楽制作など多忙な日々を送る。これまでに自己のソロを含め、アルバム多数。また中近東や東欧の管楽器にも取り組み、グルメライターとしての執筆活動でも知られ、常に表現の世界を広げている。Cannonball saxophones、Jody Jazz mouthpieces エンドーサー。
www.kuni-kuni.net



中村卓也

作曲家、マルチプレイヤー。アメリカ、ヨーロッパ、そしてアジアの国々において、90年代よりピアノ、様々な電子音響楽器、さらにエレクトリックトランペットを駆使して活動し続けている。東京都出身、1994年以後、ニューヨークに拠点を移し活気に満ちたNYのミュージックシーンで活動。東京国立出身、10代から様々な音楽に接する事で音楽の才能に目覚め、ジャズ、ロック、電子音楽などの作曲、インプロビゼーションなどの活動を開始、やがて国立音楽大学の作曲科に入学。東京での活動中もそれまでの作曲技法、理論に飽き足らずみずから様々な模索を繰り返す中、1987年来日したジョージラッセルのコンサートに衝撃的に会いリイディアンクロマティックコンセプトに興味を持ち始める。国立音大卒業後、ジョージラッセル本人に学ぶためボストンのニューイングランド音楽院大学院へ留学。ニューイングランド音楽院大学院ではさらにポールプレイ、ジュリアレンらにピアノ、インプロビゼーション、ボストンシンフォニーのティムモリソンにトランペットを学ぶ。ニューヨークでジョンゾーンの"コブラ"をニッティングファクトリー、ジョージラッセルのアメリカツアーにも参加する。同校卒業後NYに拠点を移し、ジョジョマイヤー、ココロージーらとのニューヨーク、ヨーロッパでの活動、クインシージョーンズ、ビリーホリデーのリミックスなど多岐にわたっている。2019年春にはブルックリンの"National Sawdust"で舞踏の大江安曇とハンガリーのビジュアルアーティスト"Juice"らとをフューチャーしてコンサートを行い、夏にはフランス、ポーランドでも公演した。